

# 会計課 目標

## 【概要】

会計課は、会計課長を兼務する会計管理者と出納係3名で構成し、金銭・物品の出納、資金の管理運用、県収入証紙の売り捌きなどを行なっています。

会計課の目標（令和7年度）	会計管理者
<b>【基本方向】</b> <p>職員の会計事務能力の向上を目指しながら、会計事務の見直しや効率化を進めます。</p> <p>また、適正で円滑な資金管理を実施するとともに、公金の安全かつ確実な運用方法を検討します。</p>	
<b>【達成すべき目標】</b> <ol style="list-style-type: none"><li data-bbox="209 705 777 981">1 指定金融機関の振込手数料有償化に伴う、振込件数削減策の検討 「庁内情報システム」を活用し、定期的に伝票起票時の注意点等を周知するとともに効果的な方策を検討します。</li><li data-bbox="209 1279 777 1601">2 指定金融機関等の検査の実施 指定金融機関に対して、公金の収納や支払等の事務が適正に処理されているかを確認するため、「実地検査」を行います。 また、収納代理金融機関に対しては「書面による検査」を行います。</li><li data-bbox="209 1664 777 2080">3 適正な会計事務を執行するための職員の事務能力向上 「会計事務マニュアル」を基本に、新規職員及び参加希望者を対象とした「会計事務研修会」を実施することで、職員全体のスキルアップを図ります。 また、課員が課内業務全般にわたり精通することで、少ない職員でも事務が安定的に執行できるように課内で随時調整</li></ol>	<b>【目標の達成度】</b> <ol style="list-style-type: none"><li data-bbox="818 705 1382 1265">1 指定金融機関の振込手数料有償化に伴う、振込件数削減策の検討 「庁内情報システム」を活用し、伝票起票時の注意点等を周知したことにより、前年4月から12月までの振込件数実績「18,717件」に対し、本年同期間の振込件数実績は「18,574件」となり、僅かではあるも「143件」削減することができました。 なお、効果的な方策として「財務会計システム」の改修を検討しましたが、結論には至りませんでした。</li><li data-bbox="818 1328 1382 1552">2 指定金融機関等の検査の施 指定金融機関に対しては「実地検査」、収納代理金融機関に対しては「書面による検査」を実施した結果、公金の適正な取り扱いを確認しました。</li><li data-bbox="818 1664 1382 2080">3 適正な会計事務を執行するための職員の事務能力向上 令和7年7月31日に新規採用職員及び希望職員25人に対して「会計事務研修会」を実施しました。その際のアンケート調査の結果、「理解できた」・「ややできた」の割合が6割（目標7割）にとどまりましたが、「有益であった」・「やや有益であった」の割合が7割を超えていたことから、一定</li></ol>

を図ります。

#### 4 会計事務の見直し及び事務の効率化

適正な会計事務を執行するために「会計事務マニュアル」を精査し、必要に応じて更新します。

#### 5 適正で円滑な資金管理と公金の安全かつ確実な運用

例年データの活用に加え、各課からの「収入・支出予定表」を用いて的確に資金収支を見通しながら、適正で円滑な資金管理を実施するとともに、公金の安全かつ確実な運用方法を検討します。

の成果は得られたと認識しております。

また、課員（正規職員）を課内業務全般にわたり精通させるため、事務分担を2か月ごとに交互に替えることで、少ない職員でも事務を安定的に執行できる体制の確立に努めました。

#### 4 会計事務の見直し及び事務の効率化

適正な会計事務を執行するために「会計事務マニュアル（全庁向）」及び「収入・支出事務マニュアル（課内向）」を精査し、必要に応じた更新を行いました。

#### 5 適正で円滑な資金管理と公金の安全かつ確実な運用

例年データの活用に加え、細やかなデータ集積を行うことで、適切に資金収支を見込むことができました。

研修の受講、近隣市の状況把握及び市の収支見込等を勘案しながら公金の安全かつ確実な運用方法を検討しました。